

**複数の OS 環境におけるクライアント管理ソリューション「in Campus Device」を販売開始
～東京大学へ「in Campus Device+vThrii Seamless Provisioning」を導入～**

キヤノン MJ IT グループのキヤノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：神森 晶久、以下キヤノン ITS）は、文教市場に向けて Mac/Windows/Linux などの複数の OS が混在する環境におけるクライアント管理ソリューション「in Campus Device（インキャンパス デバイス）」を 2016 年 1 月から販売開始します。



（ログイン後トップ画面）

昨今、大学や高校といった教育現場では、Mac/Windows/Linux など複数の OS 環境を用途に応じて使い分けることが求められています。一方で OS 混在環境での端末運用の難しさや、さらに頻繁に実施されるセキュリティパッチやバージョンアップへの対応などにより、学内システム管理者の作業負荷の増大が、大きな課題となっていました。

「in Campus Device」は、キヤノン ITS が文教市場向けに展開している、教育支援情報システムを構築するための独自プラットフォーム「in Campus」シリーズに、新たに加わったクライアント管理ソリューションです。Mac/Windows/Linux などの OS 混在環境においても、クライアント端末の運用を効率的に行うことができるため、学内システム管理者の作業負荷を軽減できます。

■ 端末管理に必要なさまざまな機能を集約

「in Campus Device」には、Mac/Windows/Linux など複数 OS 環境における、各端末の利用状況の監視や電源管理、端末障害時のフローの一元化から実行ジョブの管理など、端末管理に必要なさまざまな機能が集約されています。また、BootCamp 機能によって Mac 端末に Windows もインストールされている環境においては、端末管理に加えて、ブートイメージのリストアや配信、アプリケーション配信など、OS やアプリケーションも一元的に管理することができます。

■ 「vThrii Seamless Provisioning」との連携により、マルチデバイス混在環境にも対応

「in Campus Device」は、株式会社イーゲル（代表取締役社長：端山 貴也、以下イーゲル）が開発した、先進的な仮想化技術に基づくソフトウェア管理フレームワーク「vThrii Seamless Provisioning（ブイスリー シームレス プロビジョニング、以下 vThrii-P）」との連携も可能です。これにより Mac 端末に加え Windows/Linux 端末なども混在するマルチデバイス環境においても、ネットワークブートや差分イメージのオンデマンド転送、セキュリティパッチやバージョンアップなどの更新メンテナンス作業を容易に実現し、管理者の負荷を大幅に軽減することが可能になります。

■ 東京大学へ「in Campus Device」を導入

東京大学情報基盤センター、次期教育用計算機システムの入札が行われ、その結果、端末管理システムには「in Campus Device」と「vThrii-P」が採用されることになりました。2016 年 3 月からの稼働開始が予定されています。

「in Campus Device」と「vThrii-P」を組み合わせた端末管理システムの構築参考価格は、端末数 100 台規模の（ハードウェアを除く）初期導入費用として 300 万円（税別）からとなります。キヤノン ITS は、文教市場に向けて積極的に展開し、2017 年までに 30 校の導入を目指します。

- 報道関係者のお問い合わせ先：企画本部 経営企画部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603
- 一般の方のお問い合わせ先：SI サービス事業本部 文教事業部 文教営業部 03-5730-7075
- キヤノン IT ソリューションズ ホームページ：<http://www.canon-its.co.jp>

< 「in Campus Device」の主な特長>

1) ブラウザベースで簡単に操作が可能

ブラウザベースの直感的な操作が可能な UI を用意しています。そのため、コマンド操作など特別な知識がなくても、すべての操作をブラウザベースで行うことが可能です。時間的・物理的な制約にとらわれることなく効率的な運用管理を実現することができます。

2) OS イメージ展開の自動化

OS イメージのサーバへのアップロードから端末が利用できる状態までのプロセスを自動化することで、OS 更新の負荷を軽減します。

3) スケジュールによる自動運用が可能

あらかじめ作成しておいたスケジュールによる端末の起動/シャットダウン/リブートに加え、起動 OS の制御も行えます。

< 「in Campus Device」その他機能一覧>

機能	内容	in Campus 該当項目
監視	端末の利用状況を確認し運用に役立てる	・稼働状況
電源管理	端末の一斉電源管理で作業効率 UP!	・各種電源設定 ・起動時刻設定 ・起動スケジュール
サーバ管理	NetBoot/Restore サーバのステータスを確認	・サーバ管理
障害対応	端末障害時のフローの一元化	・故障端末登録 ・修理確認履歴
ジョブの管理・変更	登録したジョブ内容を確認する	・ジョブ管理
イメージリストア	Local Boot イメージを各 Mac 端末にリストア	・リストア
リストア管理	NetBoot イメージを各 NetBoot サーバに配信	・NetBoot イメージ配信
アプリ連携	各ソフトウェアと連携し一元管理する	・DeepFreeze ・vThrii-P

< vThrii-P の主な機能>

1) OS ネットブート/オンデマンド転送機能

ローカル HDD にディスクイメージがない場合に、サーバに格納されたディスクイメージから OS を起動します。さらにユーザー利用に応じてイメージファイルをローカル HDD にオンデマンド転送します。

2) パーシステントキャッシュ機能

オンデマンド転送されたイメージファイルをローカル HDD にキャッシュすることで、アクセス性能を向上させます。

3) バックグラウンドインストール機能

端末 CPU の低負荷状態を検出・活用して、未転送イメージファイルをサーバから HDD へ順次インストールします。

4) 差分イメージ更新機能

OS セキュリティパッチなど少量のイメージファイルの更新には、差分のみを別に管理することが可能なため、転送時間も大幅に短縮することができます。

5) ディスクフリーズ (システムリカバリ) 機能

ディスクフリーズ機能を有効にすることで、OS やユーザーによる HDD へのすべての書き込みや設定変更を、再起動によって元の環境に復元することができます。

■ 株式会社イーゲルについて

イーゲルは 1998 年設立の新しい技術課題に常にチャレンジし続けるソフトウェア技術者集団です。これまでに、国内外の企業の研究開発や製品開発、および、大学などの研究機関の多様な研究にその高い技術力を提供し続けてきました。vThrii Seamless Provisioning は、筑波大学、東京大学、および、イーゲルの産学連携により研究開発が続けられてきたオープンソース・ソフトウェア BitVisor(**) をベースに、イーゲルの独自技術により製品化されました。特定の OS・プラットフォームに依存せず、かつ、128MB という超軽量フットプリントで動作する BitVisor の特色を活かした OS プロビジョニング機能、PC 稼働状況に応じて最適なプロビジョニングを実現するインテリジェント・ハイブリッド・ストレージ技術。これらの技術でイーゲルは次世代の IT システム管理を支援します。

(**) BitVisor は、国立大学法人筑波大学の登録商標です。

キャノン ITS は、イーゲル社製品の販売代理店です。キャノン ITS は、in Campus シリーズをはじめとする文教向けソリューションとイーゲル社の製品を連携させて、文教市場のニーズに即した付加価値の高いソリューションを提案していきます。

※ Windows は、米国Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

※ Mac は、米国およびその他の国で登録されているApple Inc. の商標です。